

工藤綾乃

鈴木勝吾

寺田 農

小林綾子

中村玉緒



君が、いるから



企画のねらい

「子ども・若者の人権」—幸せにつながる社会をめざして—

今回の作品のテーマは、「子ども・若者の人権」です。

子どもや若者は、社会の希望であり、未来をつくる存在です。しかし、現実を顧みると、子どもや若者が被害者や加害者になる悲痛な事件が後を絶ちません。今この時も虐待やいじめなどにより人権を侵害され苦しんでいる子どもや若者が「すぐ隣り」にいることに、私たちは気づかなければなりません。

この作品は、母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感

の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通して新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描きます。

子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす人権啓発ドラマを制作します。

企 画／兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会
 企画協力／兵庫県教育委員会
 制 作／東映株式会社

■ 上映時間 33分 本体価格 80,000円(税抜)
 DVD… 字幕副音声版 (C#6321)



母親からの心理的虐待に悩む予備校生の水越奏。自由な買い物さえ許されず、自分の好きなものを自分で買うことに憧れていた奏は、予備校からの帰り道、思い切ってコンビニエンスストアに立ち寄る。そこで店員の中井欣子から店の手伝いを頼まれる奏。初めての仕事に戸惑いながらも喜びを感じた奏は、母には内緒でアルバイトとして働くことに。

1ヶ月ほどたったある日、一組の母娘が来店する。機嫌が悪い母の優奈は、棚のお菓子を落とした娘の真凜を大声で怒鳴りつける。叱られる真凜の姿に自分を重ねてしまった奏は、過換気症候群に陥ってしまうが、来店していた救急救命士の檜山亮平に助けられる。



この店は亮平にとっても特別な場所だった。中学の頃、親の離婚や学校でのいじめが原因で非行に走っていた亮平は、欣子や店の常連で民生委員の武田謙三が世話を焼いてくれたことで更生できた。そして自分も人の役に立ちたいと思い、救急救命士を志した。亮平との会話で、心が安らぐのを感じる奏。

ついに奏のアルバイトが母・ゆかりに気付かれてしまう。激怒し、強引に辞めさせようとするゆかりに反発する奏。ゆかりの心無い罵りの言葉に大きなショックを受けた奏は家を飛び出し、夜の街を呆然と彷徨う。その足は自然と欣子の元へ。子どものように泣きじゃくる奏を欣子は優しく励ます。



数日後、真凜が一人でコンビニにやってくる。以前から真凜のことを気にかけていた奏は、その様子を不審に思い、話を聞いてみようとする。奏に心を開いた真凜は、奏を自宅へと案内する。そこには夫からのDVによって怪我をし、倒れている優奈の姿が。驚き、戸惑いながらも、奏は母子を助けるべく無我夢中で行動する。

保護された真凜から感謝のメッセージが奏に届く。奏の勇氣ある行動をねぎらう欣子たち。そんな奏の胸には自分で見つけた自分だけの夢が生まれていた。奏は母親と向き合う決意をし、自宅への道を歩いて行く…。



学習の ねらい

- 子どもの頃に心に傷を負い、孤立し、困難を抱えている若者が、些細なきっかけから視野を広げ、多様な視点や価値観を認め、一人ひとりの生き方を尊重するようになることについて考える。
- ライフステージの移行時や、それに伴う環境の変化で様々な問題に直面する子ども・若者が、家庭や学校・地域等における人とのつながりの中で、他者を信頼し、社会的な成長を遂げ自立していくことについて考える。
- 児童虐待やいじめ等の発生予防として、地域での子育て支援や子どもの育成への地域の関わりについて考える。

プロデューサー／中鉢裕幸・久慈麗人 脚本／山上梨香 監督／田口仁

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
 関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
 広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066
 福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
 電話048-810-5277 Fax048-876-2955

あした咲く



舞羽 美海

岩佐 真悠子

大沼 百合子

窪塚 俊介

螢 雪次朗

企画のねらい

「女性の人権」—ともに輝ける社会をめざして—

「女性が輝く社会」の実現に向けて、平成27年8月の「女性活躍推進法」成立をはじめ、これまで様々な取り組みが進められてきました。しかし、現状は、職場や地域における女性の能力発揮のための環境整備や意識改革は必ずしも十分ではなく、また、女性の家事、育児、介護における負担も多い状況にあります。さらに、ドメスティック・バイオレンス(言葉の暴力を含む)やハラスメントなどの女性に対する人権侵害も生じています。これらの問題は、女性が輝いて生きるための大きな障壁となっています。

このため、私たち一人一人が、このような課題に目を向け、性別に関わらず

その個性と能力を十分に発揮し、ともに輝ける共生社会をめざしていかなければなりません。

この作品には、生き方の異なる姉妹が登場します。独身会社員の妹・茜と、専業主婦の姉・翠。それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えています。姉妹での対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づきます。

「幸せ」の形は十人十色です。自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろん全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる、多様性尊重社会。その実現をめざすきっかけとなる人権啓発ドラマです。

企 画／兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会
 企画協力／兵庫県教育委員会
 制 作／東映株式会社

■ 上映時間 36分 本体価格 80,000円(税抜)
 DVD… 字幕副音声版 [C#6051]



外食チェーンのお客様相談室で働く風間茜は、父の稔と二人暮らし。ある日、東京で専業主婦をしている茜の姉の翠が、娘の葵を連れて突然帰ってきた。家事と子育ての大変さを語る翠に対し、「専業主婦はまだ気楽でしょ」と口走る茜。その言葉をきっかけに二人は口論、風間家に気まずい空気が流れる。

翌日、お客様相談室では、子連れの客を非難する投書が話題に。また、産休直前の課長・玉城愛子が病院に寄ってから来ることを受けて、室長の糸島洋治は辛辣な態度。会社の制度は整っていても、平気でハラスメント発言をする上司に呆れる茜。



翠を息抜きさせるために、稔は葵を預り公園へ。そこで子どもの扱いに長けた青年・立花真澄と出会う。立花は二年前に亡くなった稔の妻・多佳子と一緒に園芸ボランティアをしていたという。稔は、立花が最近スタートさせた「まちの子育てひろば」のチラシを受け取る。

休日。わだかまりを払拭すべく、茜は翠を誘って外出し、話を聞き出す。翠は家事に非協力的な夫・健太郎からの心無い言葉に深く傷つき、家を出てきた。自分にはない視点を持つ翠の話聞いて、視野の狭さを痛感する茜。二人が帰宅すると葵が健太郎に電話をかけていた。娘にも辛い思いをさせていたことに気づき、ショックを受ける翠。



明るくて大らかだった母のようにはなれないと落ち込む翠に、稔は保管していた離婚届を見せる。仕事人間だった稔の自分勝手な言葉に傷ついた多佳子はかつて離婚を考えたことがあったというのだ。母も一人で悩んでいたことを初めて知る茜と翠。

葵の提案で、立花のいる「まちの子育てひろば」を訪れる茜たち。立花は自分が LGBT であることを告げ、多佳子に声をかけてもらったことで、地域に溶け込むことができたという。



翠と稔との対話や、地域の活動に触れたことで、自分の視野の広がりを実感した茜は、会社に新たな提案をする決意をする。そして、翠もまた夫と向き合うために行動を起こして…。

学習のねらい

- すべての人が、性別に関わりなく、互いに人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、その個性と能力を十分に発揮できる共生社会をめざすために、私たちが日常生活の中で心がけることを考える。
- 子どもの育成のために地域として、より一層安心して子育てできる環境づくりをするために必要なことについて考える。
- 多様性を尊重し、互いに人間としての共通性を再認識し、排除せずに人と人とのつながりの大切さについて考える。

プロデューサー／中鉢裕幸・久慈麗人 脚本／山上梨香 監督／田口仁 制作／東映東京撮影所 製作／東映株式会社 教育映像部

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
 関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
 広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066
 福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
 電話048-810-5277 Fax048-876-2955